

人工知能×アダプティブ・ラーニング！クラウド型学習システム「すらら」

スリランカのインターナショナルスクールが 「Surala JUKU」を5月4日に開校

シンハラ語版と英語版の小学生向け算数 eラーニングシステム「Surala Ninja!」を活用

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：湯野川孝彦、以下すららネット）は、スリランカにて小学生向け算数 eラーニングシステム「Surala Ninja!」の提供、および、運用支援を行なっています。この度、スリランカにある幼稚園から高校までのインターナショナルスクールである Yoshida Shokanji International School [ヨシダ ショーカンジ インターナショナルスクール、以下 YSIS] が、シンハラ語版と英語版の「Surala Ninja!」を活用し、日本流のしつけも教える「Surala JUKU」を「Yoshida Learning center」の名称で5月4日に開校します。

「Surala JUKU」は、スリランカで展開している Grade1 から Grade5（日本の幼稚園年長～小学4年生相当）の児童を主な対象とし、シンハラ語版にカスタマイズしたクラウド型学習システム「Surala Ninja!」を用いて日本の算数技能を学ぶことができる学習塾です。同時にパソコンの使い方を身に付けられ、日本流の「しつけ」（規律や自立学習）も学べる点が生徒や保護者より高評価を受けています。これまで BOP 層の子どもたちを対象とした学習塾を中心に17校開校しており（5月1日現在）、今回初めてインターナショナルスクールにより、シンハラ語版と英語版の両方を活用する「Surala JUKU」が開校します。



今回、YSIS が新規事業として「Surala JUKU」を開校するに至ったのは、「Surala Ninja!」のレクチャー内容が「質の高い教育の提供」という YSIS の方針に合致したためです。加えて、規律性・自立学習を身に着ける日本流のしつけを教室で指導する点が日本との所縁が深い YSIS の学校の風土に非常に好意的に受け入れられたこと、保護者からの要望もあり IT 教育に力を入れたいという方針があったこと、なども要因です。また、YSIS は敷地の一角に、外部向けのコンピュートースクールを運営しているため、eラーニングを活用した学習塾を開校するにあたっての設備が既に整っていたことも今回の開校の後押しとなりました。

YSIS が開校する「Surala JUKU」では、YSIS の児童ではない周辺外部の小学生を対象にシンハラ語の「Surala Ninja!」が提供されます。また、同時に同校の生徒を中心にインド向けに制作した英語版「Surala Ninja!」を提供していく計画です。ファシリテーター（講師）は、いずれも YSIS の幼稚園と小学校の教員が担当します。

YSIS は、日本の寺院の支援により創設された日本にゆかりの深いインターナショナルスクールです。幼稚園から高校まで一貫教育を行っており、授業は英語で行われ、カリキュラムもスリランカのナショナルカリキュラムと、ケンブリッジカリキュラム（イギリスの教育システムに沿ったカリキュラム）の両方を提供しています。

すららネットでは、今回の開校において YSIS の地域での知名度の高さを生かして幅広い生徒に教育サービスを提供していきたいと考えています。4月に開催した開校説明会では150名を超える保護者が参加し、好反応を得ました。開校時点では、70～80名の生徒でスタートすることを予定しています。

また、今後も「教育に変革を、子どもたちに生きる力を」という理念のもと、国内のみではなく、世界に向け、品質の良い教育を低価格で提供することで社会の問題を解決していきたいと考えています。

■クラウド型学習システム「すらら」とは

【学習範囲】 小学校高学年～高校 3 年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】 英語・数学（算数）・国語

【利用者数】 約 39,000 名（2016 年 12 月末現在）

【特徴】

○Point 1 スモールステップでわかりやすいインタラクティブ授業

1 つの単元は 10 から 15 分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成。

しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることが可能に。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでにどこまでの学習をするかといった「月 1 回の目標設定」や、つまづいているところがないか「週 1 回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、クラウド型学習だからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

<参考>これまでの e ラーニング教材の大半は以下の 3 パターン

1. 動画配信型：カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ
「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないうりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でない、集中力が続かない。
2. 問題集型：問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ
「定着」にすぐれているが「理解」の部分がないうりっぱなし、学力の高い生徒でない、一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型：携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の"次世代型教育システム"です。



■「すらら」の“アダプティブ・ラーニング”機能

生徒の解答結果から独自のアルゴリズムにより苦手部分を分析・特定し、生徒それぞれに最適化した学習すべき解説や問題を自動で提示する機能。学習者が苦手分野を自分で克服できるようにする。

■「すらら」の人工知能

AI が個々の生徒の学習データに基づき先生の代わりに生徒と対話を行う機能「AI サポーター」を搭載。慶應義塾大学 中室牧子研究室と行った共同研究の結果を受け、「努力を促す声掛け」を中心に変更し 2017 年 4 月 16 日より正式運用を開始。生徒の学習意欲の向上や学習習慣の定着を促す。

■ 株式会社すらら ネット 会社概要

- 設立：2008 年 8 月 ○ 資本金：13,795 万円 ○ 所在地：東京都千代田区内神田
- 事業内容：クラウド型学習システムによる教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社 URL： <http://surala.jp/>
- 受賞歴：
 - ・ 第 9 回日本 e-Learning 大賞 文部科学大臣賞 (2012 年)
 - ・ Japan Venture Awards 2014 中小機構理事長賞 (2014 年)
 - ・ 第 2 回「日本ベンチャー大賞」社会課題解決賞（審査委員会特別賞）（2016 年）
 - ・ 第 8 回「千代田ビジネス大賞」大賞 (2016 年)